

図. 6-19 セイヨウカボチャ子葉の裏面表皮細胞上で観察された精製マシン油乳剤散布40分後の被膜 (OF 矢印) 形成初期の状態とうどんこ病菌の分生孢子 (C)。

(光学顕微鏡 66倍)

図. 6-20 薬剤散布90分後の収縮したうどんこ病菌の分生孢子 (C)。

(光学顕微鏡 66倍)

図. 6-21 薬液乾燥後蒸留水を散布し温室としたペトリ皿に24時間静置したうどんこ病菌の分生孢子。

発芽した分生孢子 (C) は観察されない。

(光学顕微鏡 33倍)

図. 6-22 セイヨウカボチャ子葉の裏面表皮細胞上に接種し、24時間静置したうどんこ病菌。

発芽した分生孢子 (C) が認められる。

(光学顕微鏡 66倍)

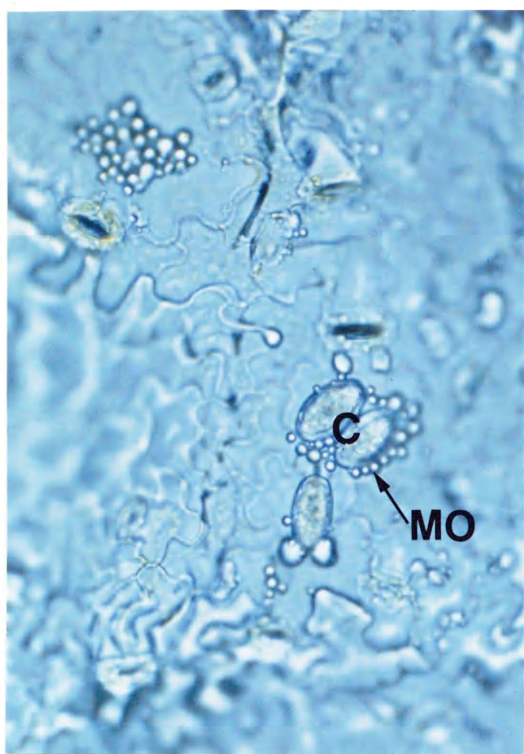


图. 6-19

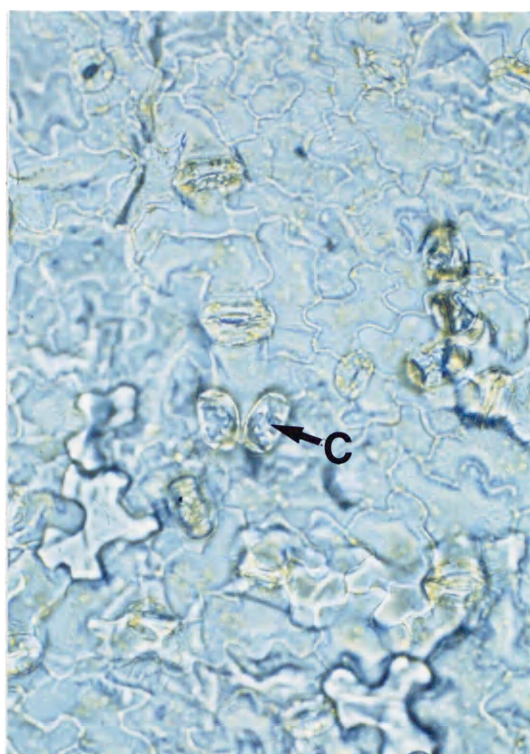


图. 6-20

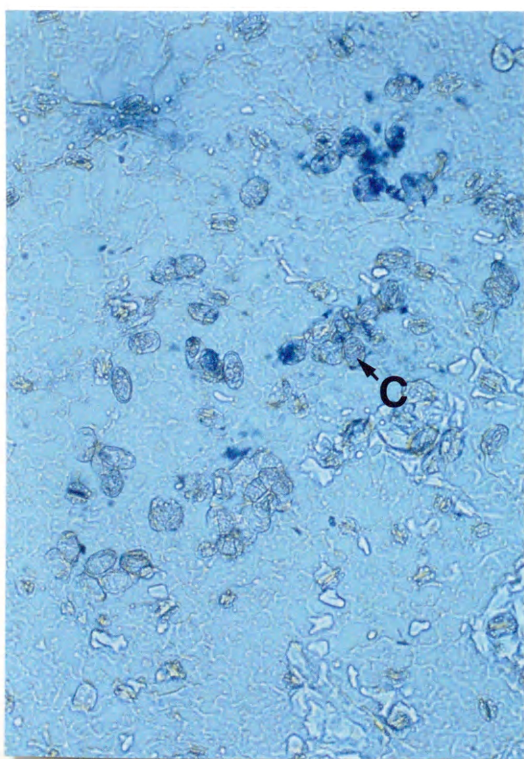


图. 6-21

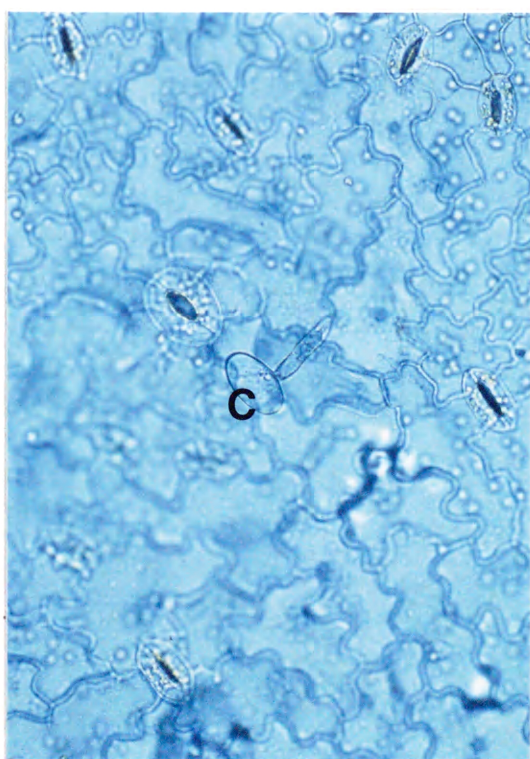


图. 6-22

図. 6-23 水圧処理（水深30cm, 30分）したキュウリうどんこ病菌の分生孢子。

多くの分生孢子（C）は収縮している。

（光学顕微鏡 66倍）

図. 6-24 水圧処理（水深30cm, 30分）24時間後のうどんこ病菌分生孢子。

分生孢子は24時間経過しても収縮した状態である。

（光学顕微鏡 132倍）

図. 6-25 水圧処理（水深30cm, 30分）24時間後のキュウリ灰色かび病菌。

発芽した分生孢子が観察される。

（光学顕微鏡 66倍）

図. 6-26 水圧処理（水深30cm, 30分）24時間後のイネごま葉枯病菌。発芽した分生孢子が観察される。

（光学顕微鏡 66倍）

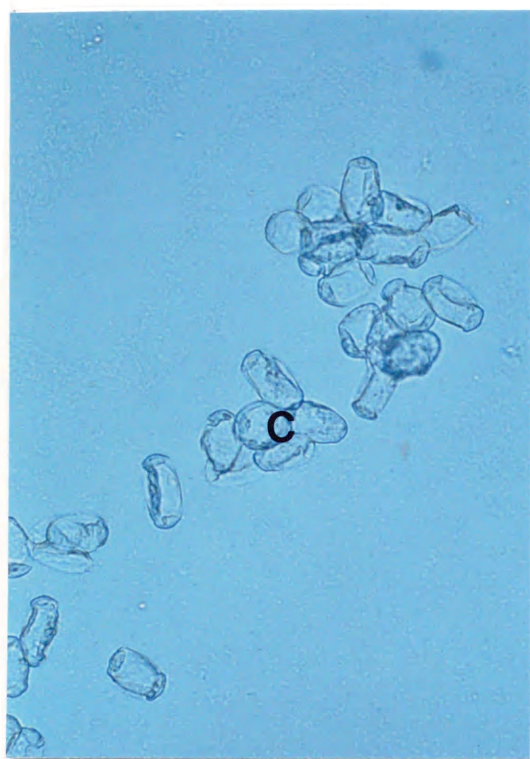


图. 6-23

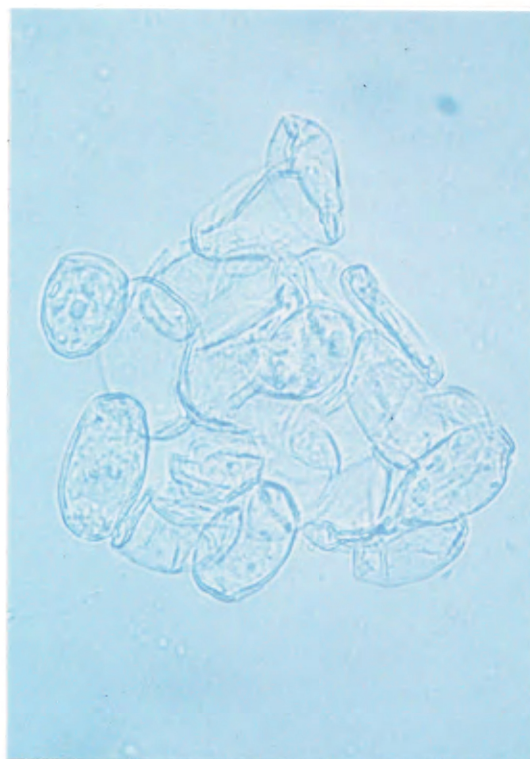


图. 6-24



图. 6-25



图. 6-26

図. 6-27 接種直後に蒸留水を散布し、その1日後のうどんこ病菌分生胞子。
接種した分生胞子 (C) は発芽 (G) し、菌糸 (H) を伸長させて
いる。

(走査型電子顕微鏡 1500倍)

図. 6-28 接種直後に蒸留水を散布し、その1日後のうどんこ病菌分生胞子。
分生胞子 (C) は発芽 (G) し、菌糸 (H) を伸長させている。
キュウリ葉上に気孔 (ST) が観察される。

(走査型電子顕微鏡 700倍)

図. 6-29 接種2日後に蒸留水を散布し、その1日後の菌糸 (H)。
表面が平滑なうどんこ病菌の菌糸が観察される。

(走査型電子顕微鏡 400倍)

図. 6-30 接種5日後に蒸留水を散布し、その1日後のうどんこ病菌の
分生子梗 (Cp) および分生子梗上に形成された分生胞子 (C)。
分生子梗は直立し分生胞子が直線的に形成される。

(走査型電子顕微鏡 400倍)

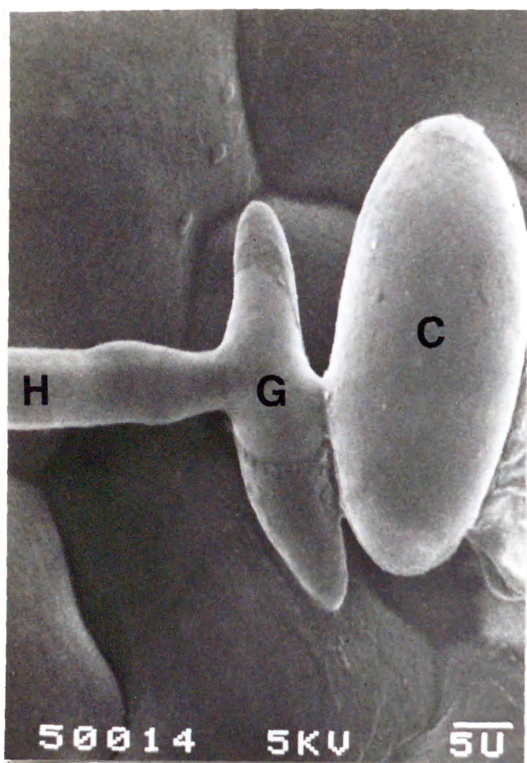


图. 6-27

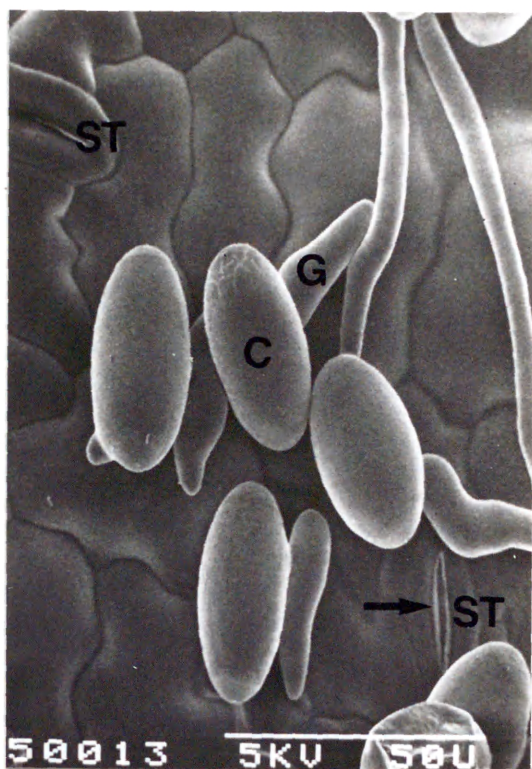


图. 6-28



图. 6-29

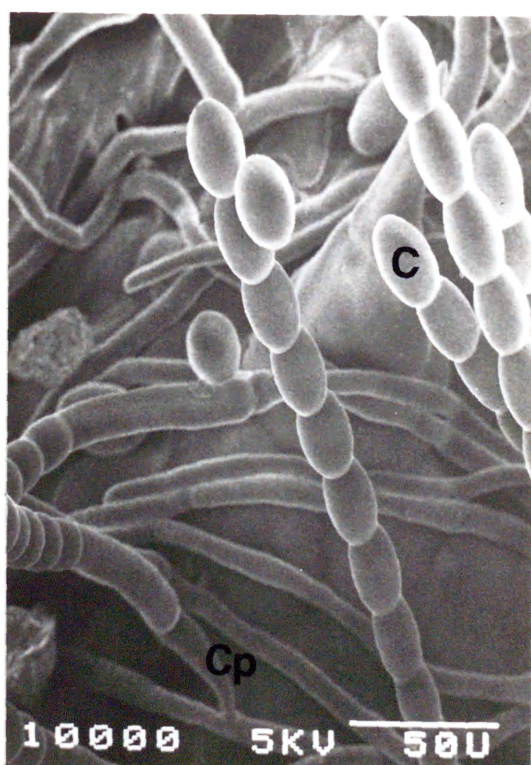


图. 6-30

- 図. 6-31 精製マシン油乳剤散布1日後のキュウリ表皮細胞。
キュウリ葉の細胞融合部に形成された精製マシン油乳剤の被膜
(OF 矢印)，毛耳 (P) の基部に多くの油膜形成が認められる。
(走査型電子顕微鏡 400倍)
- 図. 6-32 接種直後に精製マシン油乳剤を散布し1日後の分生孢子 (C)。
分生孢子は被膜 (OF) に囲まれて収縮している。
(走査型電子顕微鏡 400倍)
- 図. 6-33 接種2日後に精製マシン油乳剤を散布し、1日後の分生孢子 (C)
および菌糸 (H)。
分生孢子および菌糸は収縮している。
(走査型電子顕微鏡 300倍)
- 図. 6-34 接種2日後に精製マシン油乳剤を散布し、1日後の分生孢子 (C)，
菌糸 (H) および被膜 (OF)。
収縮した分生孢子および菌糸の周囲に被膜 (矢印) が観察される。
(走査型電子顕微鏡 700倍)

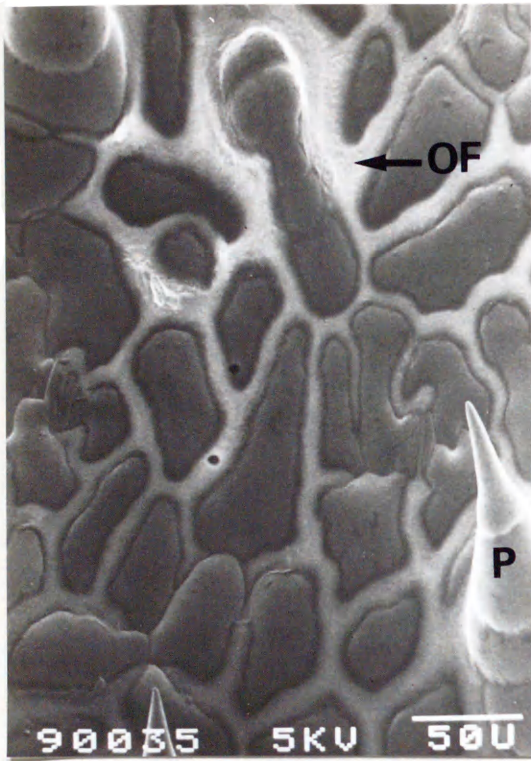


图. 6-31

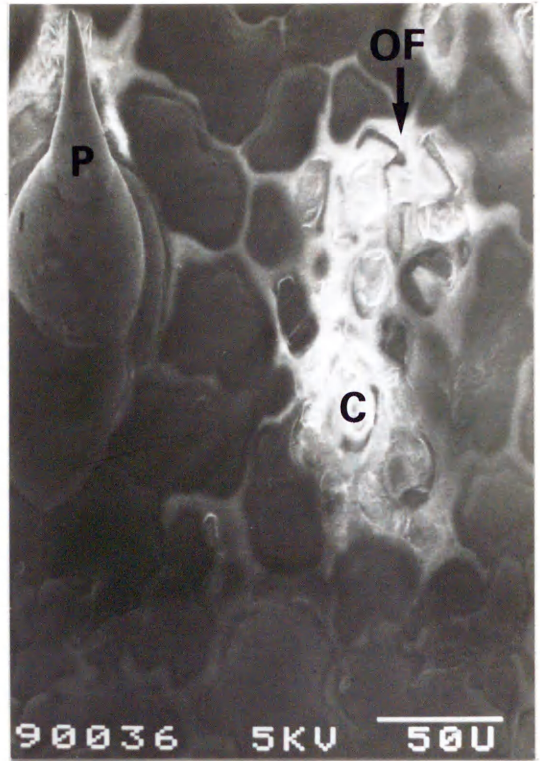


图. 6-32

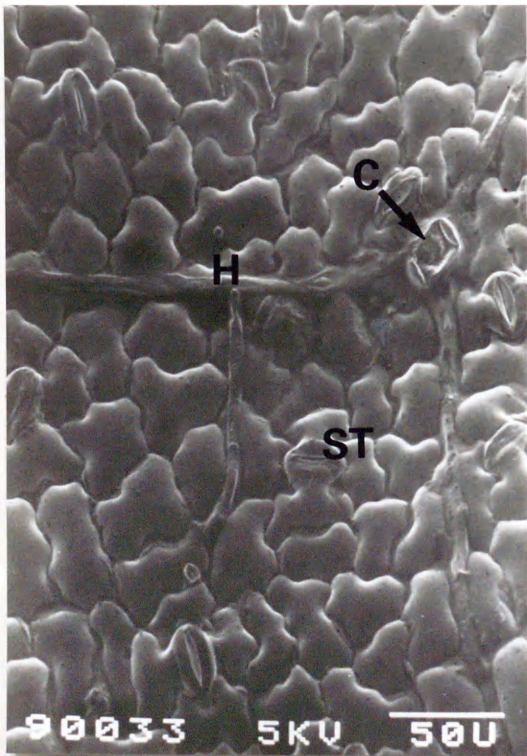


图. 6-33

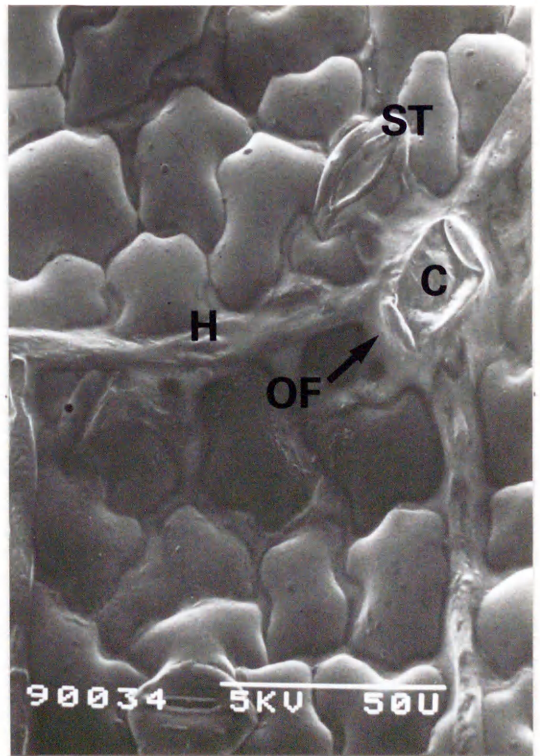


图. 6-34